

2023年度版(2022年度実績分) 健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2020～2022年度のデータに基づいて作成しています。

共済組合の保健事業が健康課題の解決策に！

本レポートでは、各省庁等と共済組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。各省庁等においては、各省庁等の財産である職員等の健康を守るために、共済組合と連携した職員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は共済組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

「組合」：共済組合 / 「全組合」：全共済組合 /

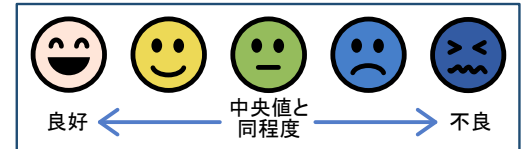
「医療費」：年間医療費 / 「特定健診」：特定健康診査

※2019年度以前の内閣共済組合支部の経年データについては、内閣共済組合全体の情報を表示

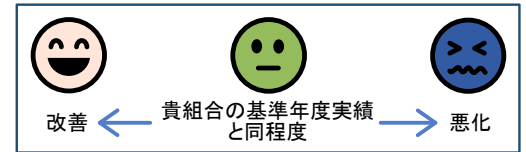
【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、健康スコアリングレポート参考資料P14・P15「(参考)各指標の算出方法」をご参照ください。

■判定基準値(全組合平均を100とした場合)



■判定基準値(貴組合の基準年度実績を100とした場合)



貴組合の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

総合判定



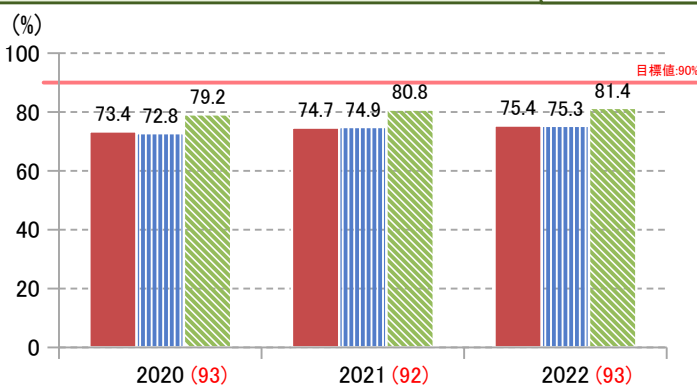
全共済組合順位

85位 / 91組合

特定健診の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと 554人

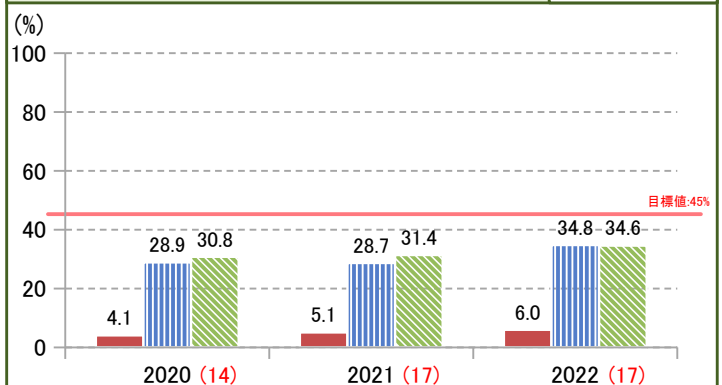


特定健診の実施率	2020	2021	2022
貴組合	73.4%	74.7%	75.4%
	75位 / 91組合	76位 / 91組合	78位 / 91組合
国共済平均	72.8%	74.9%	75.3%
全組合平均	79.2%	80.8%	81.4%

特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと 262人



特定保健指導の実施率	2020	2021	2022
貴組合	4.1%	5.1%	6.0%
	89位 / 91組合	87位 / 91組合	87位 / 91組合
国共済平均	28.9%	28.7%	34.8%
全組合平均	30.8%	31.4%	34.6%

※ 目標値は、第3期(2018～2023年度)特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。

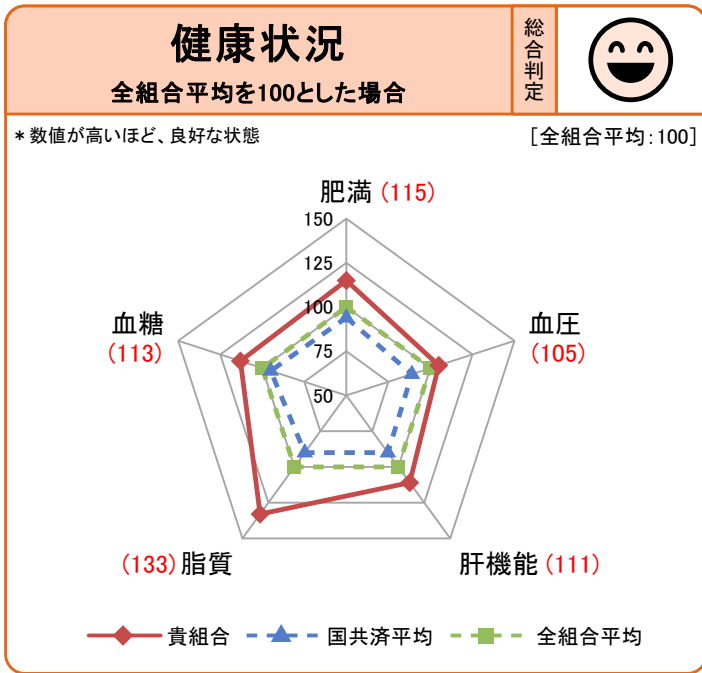
※ 順位は、保険者種別目標の達成率の高い順にランキング。

※ ()内の数値は、全組合平均を100とした際の貴組合の相対値。

(*)1「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載。






■ 貴組合 ■ 国共済平均 ■ 全組合平均

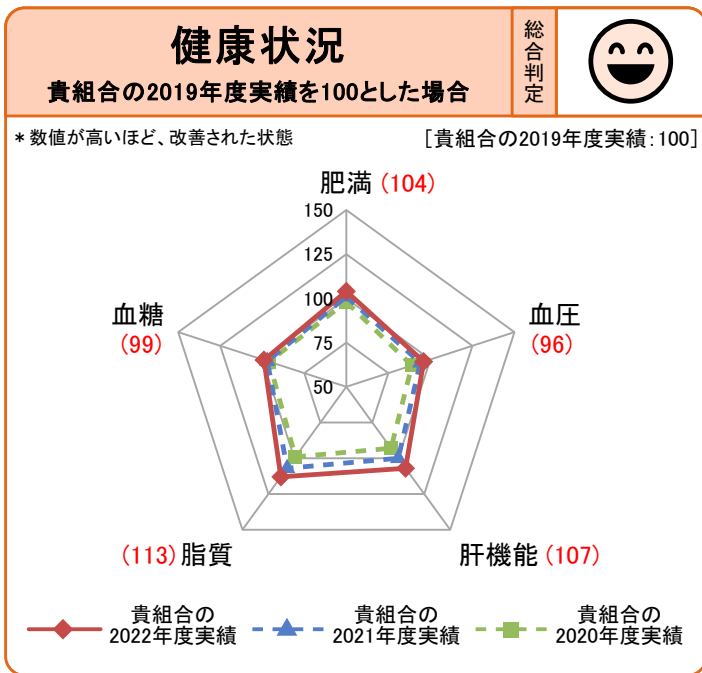
貴組合の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)



※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化

項目	2020	2021	2022	判定	
肥満	貴組合	112	114	115	
	国共済平均	94	94	94	
血圧	貴組合	100	103	105	
	国共済平均	88	89	89	
肝機能	貴組合	105	110	111	
	国共済平均	89	90	90	
脂質	貴組合	126	130	133	
	国共済平均	88	90	90	
血糖	貴組合	110	111	113	
	国共済平均	94	94	95	



健康状況の経年変化

項目	2020	2021	2022	判定
肥満	貴組合 98	101	104	
血圧	貴組合 89	94	96	
肝機能	貴組合 93	100	107	
脂質	貴組合 99	107	113	
血糖	貴組合 96	97	99	

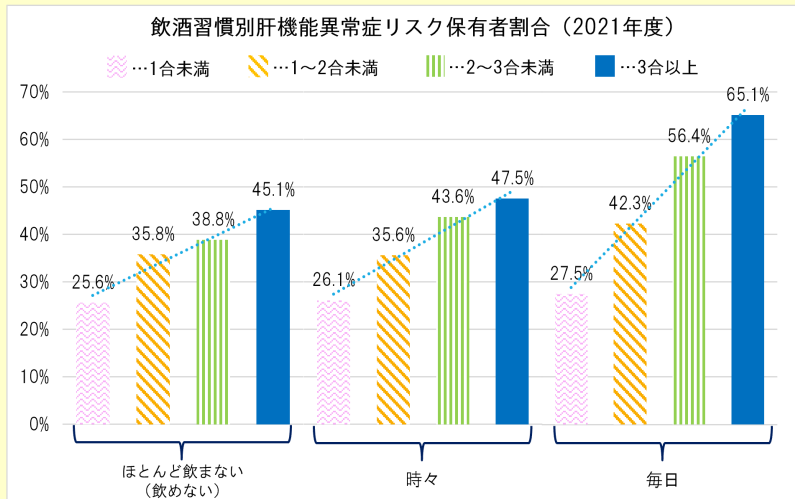
【コラム】適度な飲酒で健康な肝臓を！

飲酒習慣別に肝機能異常症のリスク保有者割合をみると、1回の飲酒量が「1合未満」では、肝機能異常症のリスク保有者割合は飲酒頻度によらずほぼ同程度です。

しかしながら、飲酒頻度が同じ場合、1回の飲酒量が多いほど肝機能異常症のリスク保有者割合は高くなり、1回の飲酒量が「1合未満」から「3合以上」に増加すると肝機能異常症のリスク保有者割合は「ほとんど飲まない」「時々」では約1.8倍に、「毎日」では約2.4倍に上昇します。

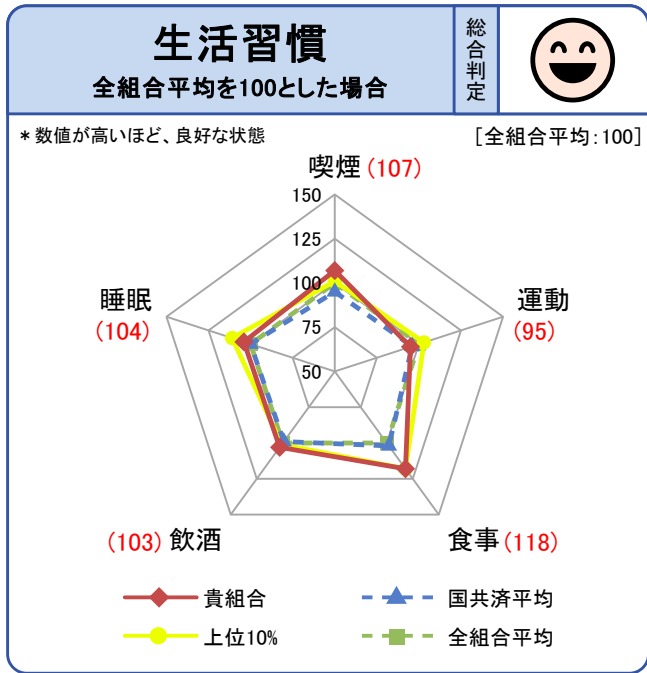
健康な肝臓を保つために、休肝日を作る、飲む量を1合減らす等、適度な飲酒習慣を心掛けるよう促しましょう。






※ 飲酒状況に関する質問票の全てに回答がある者のみを対象に算出
 ※ 2022年度報告(2021年度実績)データより算出
 ※ 肝機能異常症のリスク保有者…AST 31U/L以上、ALT 31U/L以上、 γ -GTP 51U/L以上のいずれかに該当する者
 (健康スコアリングレポートと同一の定義)



貴組合の生活状況（適正な生活習慣を有する者の割合）

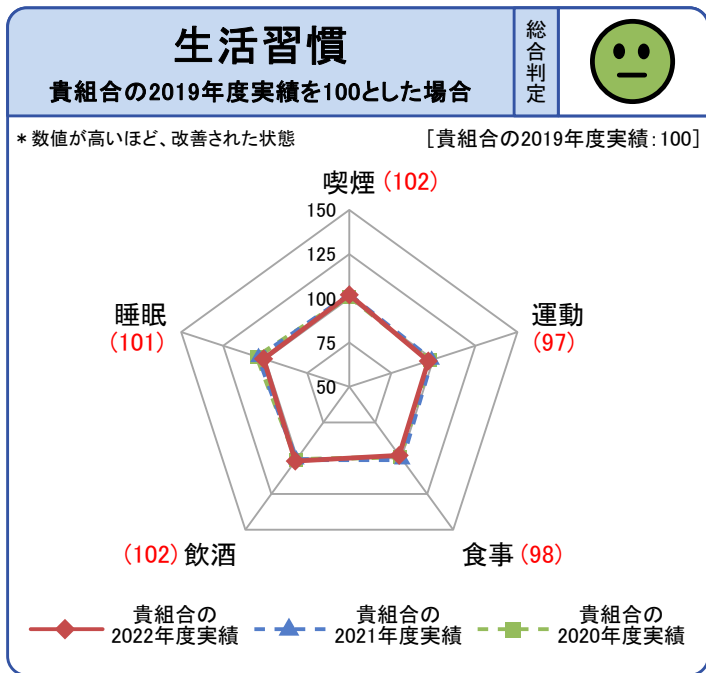
※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。



生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	ランクUPまで (*1)
喫煙	貴組合	107	107	107	 最上位です
	国共済平均	95	95	95	
	上位10%	103	101	101	
運動	貴組合	101	100	95	 あと 256人
	国共済平均	94	95	96	
	上位10%	113	104	103	
食事	貴組合	117	119	118	 最上位です
	国共済平均	101	102	102	
	上位10%	117	117	118	
飲酒	貴組合	103	102	103	 最上位です
	国共済平均	99	99	99	
	上位10%	103	103	101	
睡眠	貴組合	106	105	104	 あと 85人
	国共済平均	100	100	100	
	上位10%	112	109	111	

※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

※ 上位10%は全共済組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表す。
(*1) “ランクUP”は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。

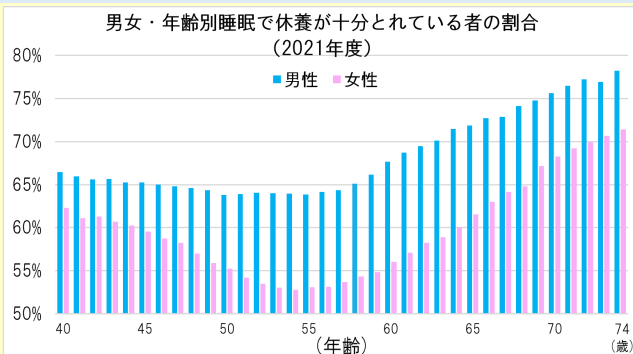


生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	
喫煙	貴組合	101	102	102	
運動	貴組合	98	99	97	
食事	貴組合	99	101	98	
飲酒	貴組合	101	101	102	
睡眠	貴組合	105	104	101	

【コラム】生活習慣を見直し、睡眠で休養を十分とりましょう！

特定健診の睡眠に関する質問の結果を男女・年齢別にみると、40代から50代半ばにかけて睡眠で休養が十分とれている者の割合が低下しています。特に女性ではその傾向が顕著に表れており、その低下の程度が大きくなっています。少しでも良い睡眠習慣を身につけられるように、睡眠環境や生活習慣を可能な範囲で見直すように促しましょう。

※睡眠に関する質問票の回答がある被保険者のみを対象に算出
※2022年度報告（2021年度実績）データより算出
※睡眠で休養が十分とれている者の割合…特定健診の睡眠に関する質問「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者の数 / 特定健診の睡眠に関する質問に回答した者の数



(注) 【本レポートにおけるデータ対象】
・医療費：全加入者 / 特定健診（健康状況・生活習慣）：40歳～74歳。
・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。
健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入者数50名未満の場合「×」を表示。

貴組合の医療費状況

1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移

医療費

参考：医療費総額(2022年度)

貴組合

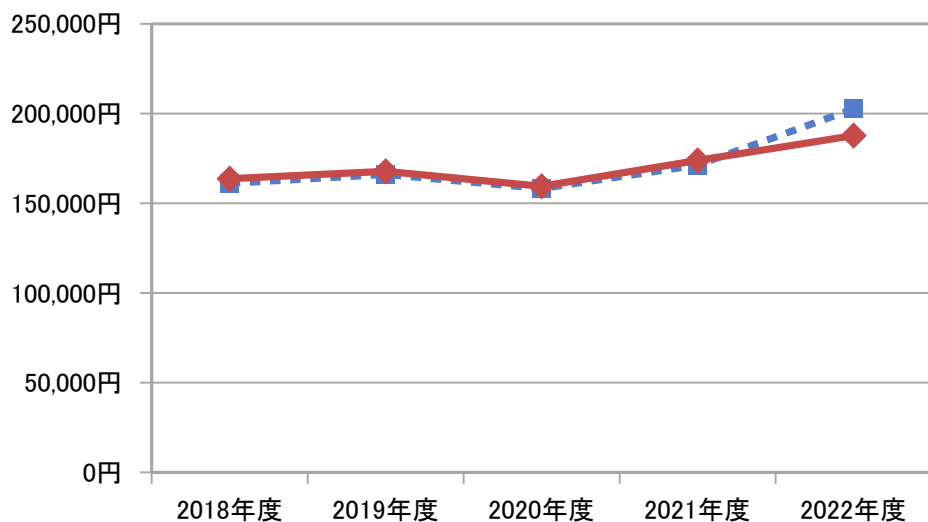
8,318百万円

◆ 1人あたり医療費

性・年齢補正をしていない貴組合の総医療費を貴組合の加入者数で除した医療費。

■ 性・年齢補正後標準医療費

全組合平均の性・年齢階級別1人あたり医療費を、貴組合の性・年齢階級別加入者数に当てはめて算出した1人あたり医療費。



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1人あたり医療費	163,701円	167,815円	159,461円	173,905円	187,718円
性・年齢補正後標準医療費	161,121円	166,088円	158,244円	171,309円	202,630円

【貴組合の1人あたり医療費(2022年度)】

貴組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数
187,718円	202,630円	0.93

参考：貴組合の男女別・年代別1人あたり医療費(2022年度)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
貴組合	184,054円	191,413円	109,462円	172,036円	159,997円	243,517円	337,209円
国共済平均	141,781円	185,539円	89,871円	125,693円	145,739円	226,345円	435,590円
全組合平均	173,008円	197,849円	111,023円	150,446円	168,371円	249,592円	466,718円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」及び「健康スコアリング活用ガイドライン」を参照。

貴組合の後発医薬品の使用割合

貴組合の後発医薬品の使用割合(数量シェア)の推移

	2019年 3月診療分	2020年 3月診療分	2021年 3月診療分	2022年 3月診療分	2023年 3月診療分
後発医薬品の使用割合	73.8%	76.4%	77.9%	77.3%	78.6%

※実績年度の集計値ではなく、3月診療分の集計値。

健康スコアリングレポート【レポート本紙】

2023年度版

(2022年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省